

# 開発仕様書

平成 28 年 10 月 28 日

独立行政法人 奄美群島振興開発基金

## 目次

1. システム開発・再構築の目的 .....	3
2. 業務の概要 .....	3
3. 新システムに求められる機能 .....	4
4. システム要件 .....	5
5. 性能要件 .....	6
6. 信頼性要件 .....	7
7. 保守運用要件 .....	7
8. セキュリティ要件 .....	7
9. 移行に関する要件 .....	7
10. 開発体制及びスケジュール .....	8
11. その他 .....	8

## 1. システム開発・再構築の目的

対象のシステムを独立行政法人奄美群島振興開発基金（以下、基金と称する）の業務で現行利用している『基幹システム』の再構築とする。

本再構築の目的は、以下の3つである。

- ① 変化するシステム環境への対応力強化
- ② 業務改善に対するシステム変更力強化
- ③ 災害等への事業継続計画(BCP)への対応

## 2. 業務の概要

業務内容の基本構造は、以下の通り。詳細については、添付資料「基金システム画面(No.1～No.3)」を参照。

### 基本機能

#### a. 顧客管理

顧客、保証人の新規登録機能、登録情報の変更機能を有する。  
受付への新規登録機能を有する。

#### b. 受付管理

融資、保証が決定されるまでの顧客、保証人の新規登録機能、登録情報の変更機能を有する。  
融資、保証債権への新規登録機能を有する。

#### c. 証書貸付業務

証書貸付の情報閲覧、情報変更及び、償還表の作成、変更機能、回収金処理機能を有する。

#### d. 手形貸付業務

手形貸付の情報閲覧、情報変更及び、償還表の作成、変更機能、回収金処理機能を有する。

#### e. 保証業務

保証の情報閲覧、情報変更及び、償還表の作成、変更機能、減額処理機能を有する。  
求償権へ新規登録を行う代位弁済機能を有する。

f. 求償権業務

求償権の情報閲覧、情報変更及び、回収金処理機能を有する。

なお、現行システムのデータベースおよび画面遷移を含む上流工程の解析は、平成26年に実施しており、添付の「機密保持契約書」を締結後、希望受託者には現行のシステム操作手順書と共に、DVDでデータファイルの受け渡しを行う。

希望受託者は、企画提案時にDVDを返却し、企画採用受託者には採用時に再度DVDの受け渡しを行う。

3. 新システムに求められる機能

Windows 7 Professional 32bit、Windows 10 Pro 64bit 両方のクライアント端末で利用できる。

最新版の Microsoft Office と連携がとれる。

現在の業務形態に対応するため、現行システム画面に以下の変更を施す。

【証貸変更画面】

- ・以下の項目の追加

項目名	型
償却日	日付
償却金額	数値
市町村利子補給率	小数
損害金利率	小数
時効到来日	日付
管理事務停止日	日付

- ・以下項目の名称変更

現在の項目名	変更後の項目名
利子補給率	県利子補給率

#### 【手貸照会画面】

- 以下の項目の追加

項目名	型
償却日	日付
償却金額	数値
市町村利子補給率	小数
損害金利率	小数
時効到来日	日付
管理事務停止日	日付

- 以下項目の名称変更

現在の項目名	変更後の項目名
利子補給率	県利子補給率

#### 【求償権回収画面】

- 入金先をドロップボックスでの選択形式に変更
- 回収方策ドロップボックスの追加（融資回収金画面と同様の項目）
- 代払い人ドロップボックスの追加（融資回収金画面と同様の項目）

業務形態の変化におけるデータベースへの項目追加などに柔軟に対応できるシステムとする。

将来的には、社内から外部データセンター等へサーバを移す事を考慮し、外部へサーバを移したとしても稼働するシステムとする。

## 4. システム要件

ハードウェア要件：

基金で用意する下記サーバを使用すること。

※下記サーバは見積もりに含めない。

#### 【サーバ仕様】

型番	NEC Express5800/R110h-1 (SATA 3.5型 4ベイ)
CPU	インテル(R) Xeon(R) E3-1220v5(4C/3GHz/8M)
メモリ	8GB
HDD	1TB 6Gb/s ×1
電源ユニット	400W
無停電電源装置	有り(1500VA)

ソフトウェア要件：

サーバでは以下のソフトウェアを使用すること。

クライアント端末は 30 台を想定してライセンス取得を行うこと。

オペレーションシステム	Microsoft Windows Server
データベースソフトウェア (右記から選択)	Microsoft SQL Server Oracle MySQL Postgre SQL
開発言語	開発言語は安全性及び信頼性が高く広く一般的に普及しているものであり、開発元よりセキュリティバッチ、バグフィックスバッチ等の提供が受けられるものであること。

※1 最新版の商用ソフトウェアを使用すること。

※2 GUI 操作が可能であること。

※3 DB の Access エクスポート機能を有すること。

ネットワーク要件：

- ・インターネット接続なし（社内 LAN のみ）
- ・LAN ケーブルはカテゴリ 5 を使用（一部 5e）
- ・ルータ機能を用いた拠点間 LAN 間接続あり。（VPN）

PPTP サーバ、PPTP クライアントシステムを用いた拠点間 VPN 接続

※ 社内 LAN 内にサーバを所持。

## 5. 性能要件

下記クライアント端末 30 台同時接続、操作で稼働するシステムとする。

※下記クライアント端末は基金側が現行で使用している端末であり、移行対象に含まれない。

【クライアント端末性能】

オペレーションシステム	Windows 7 Professional 32Bit
CPU	Intel Core i3-4160 3.60GHz
メモリ	4GB
HDD 容量	500GB

## 6. 信頼性要件

サーバに RAID は構築しない物とする。

バックアップは市販のソフトを使用し、HDD コピーと共にファイルバックアップを行う。市販のソフトは基金側が用意することとする。

## 7. 保守運用要件

業務に支障のある障害が発生した場合は、早急に復旧可能な体制を確保するものとする。

日常の業務運用に関して、電話等による質問・疑問の問合せに敏速に対応・指導・助言が可能なものとする。

## 8. セキュリティ要件

個人情報保護、サーバや端末の使用制限やアクセス管理、データ漏洩対策、不正アクセス対策、ウィルス対策等のセキュリティ対策を確保出来るものとする。

## 9. 移行に関する要件

旧システム（現行システム）の構成は以下となっている

【旧システム（現行システム）】

オペレーションシステム	Windows Server 2012 R2 Essential
データベースソフトウェア	Microsoft SQL Server 2008 Enterprise
システム開発言語	Visual Basic 6.0

※ 現行サーバでは、データサーバ以外の役割として ActiveDirectory 管理、ファイルサーバ、メールサーバを兼用している。サーバ移行時には役割も同時に移行を行い、現行サーバ同様の働きをさせることとする

## 10. 開発体制及びスケジュール

開発体制は、開発委託会社内で実施する。

基金システム担当は、リクエストに応じて業務の説明やサンプルデータの受け渡しを行なう。

開発着手からリリースまでの期間を6か月とする。

開発期間6か月の途中でのマイルストーンは、以下の4回を設ける。

DR1：開発画面と仕様一覧レビュー

DR2：操作性レビュー（データベースを使用した4主要画面完成時）

DR3：中間レビュー（総開発画面の半分が開発した段階）中間支払基準

DR4：カットオーバー判定レビュー

マイルストーンにおけるレビューは、基金の指名するメンバーで行なう。

## 11. その他

本仕様書に明記されていない事項で、実施に当たり必要となる事項については、基金及び受託者で協議の上、決定する。